

和地ひとみレポート No.46

5月12日～6月11日は東大和市環境月間
6月3日（日）環境市民の集いの目的を果たすためには？



■今年も開催、環境市民の集い

…ご存知の方も多いと思いますが、東大和市では5月12日～6月11日の1か月間を東大和市環境月間と定め、環境問題を市民の皆さんとともに考え、環境の保全について関心と理解を深めていただくため、市内では催しや講座などが開催されています。その代表的なものが『環境市民の集い』です。この集いは、市役所の中庭を会場とし「みんなで築こうよりよい環境」をメインテーマに、市内で活動する環境団体の紹介などを通し、ごみの減量や自然保護などについて、その対策や工夫を市民の皆さんとともに考えていくために開催されます。

■『市民の皆さんとともに…』のPRは？

…現在、財政的に厳しい状況の東大和市の中で、経費削減の可能性のあるゴミ処理費用。タウンミーティングなどでも実情が説明されるなど重要な課題のひとつであり、ゴミ削減は市民全員で取り組むことにより効果が見込まれるものです。環境問題はゴミの問題だけではなく、空堀川などの市内の自然環境の保護や節電などのエネルギー問題など多岐にわたっていますが、その対策は多くの市民の方に知っていただき、一人一人が日常的に行動することにより効果がでるものが多いのも事実です。

…よって「環境市民の集い」は、これをきっかけに環境問題を知っていただくためのもので、環境問題にあまり関心がない方や関心はあっても良くわからない方、どのように自分が貢献できるのか分からないという方などに足を運んでいただくことで、その目的が達成される

イベントです。特にこの「環境市民の集い」はお祭りのような雰囲気のイベントなので、お子様連れやご家族で気楽に足を運んでもらいたいものです。

…当日、参加される環境団体の方やその関係者の皆さんは高い関心を持って参加、来場されることは間違いありませんが、一方で「イベントを開催しているから行ってみよう」という層へのPRをもう少し強化するべきではないかと、今年の会場では感じていました。

…たとえば、学校での取り組みなどを発表するコーナーを作るなどすれば、そのご家族が会場を訪れることも考えられます。また、お店など人の集まる場所にイベント告知を掲示することなども可能です。

■「継続」と「ルーチン」の違い

…毎年イベントを開催し、回を重ねることは重要です。しかし、それが「毎年開催するものだから」というイベントになってしまうようでは、イベントの本来の目的が薄れてしまいます。特に行政主導で実施するものは、年間スケジュールの中で消化されていく色合いが濃くなりがちです。

…もちろん各回、工夫されている部分はありますが、全て白紙から考えることは出来なくても、毎回、進化していくことも必要。それがあってこそ参加される市民の方の数や幅も大きくなっていくと思います。PRの工夫もその一つだと考えます。ちなみに、今年は4月に開催された『うまかんべえ～祭』の入賞作品が市役所食堂で出品されるとのことです。「初めて足を運んだ」という方が一人でも多くなればと願っています。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。／父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。／卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0003 東大和市狭山2-864-3-202